

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます

SSKP いずみ

No.
146

2007年9月

社会福祉法人 泉会

法人本部
泉の家 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号
☎03(3417)3451(代) ☎03(5494)7533
izumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/izumi/

日の出舎 〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番
☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205
info@hinodesha.org
http://izumikai.jp/hinode/

岡本福祉
作業ホーム 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号
☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976
okamoto@izumikai.jp
http://izumikai.jp/okamoto/

岡本ホーム
玉堤分場 〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号
☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433
tamatatumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/tamatutumi/

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)
二〇〇七年八月二十二日発行(SSKP通巻三五七九号)



グループ活動で浅草の寄席に行ってきました。(泉の家)

本年の聖句
愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。
(コリントの信徒への手紙1:13章4-7節)

ともに歩む



理事長 橋向敏治

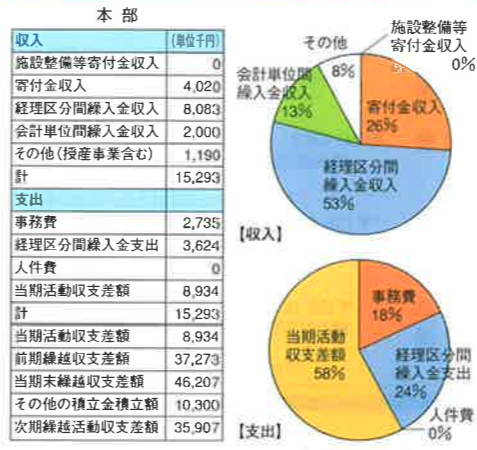
生きていく上で安心・安眠・安息・安穩がありますが、安全の言葉ほど大切なことはありません。自然災害の中で日本では地震ほど命を脅かし不安を増長させるものはありません。阪神淡路地震・中越沖地震に、善意に溢れた多くのボランティアの方々が、有給休暇を取得してまでも、支援に駆けつけていました。被災された人に勇気を与え、地域での交流は心温まる記憶に新しいものでした。わたくしたちの四事業所でも、年間二〇〇人以上の方々による善意に支えられて歩んでおります。この尊い無償の奉仕を受け止め、わたくしどもは、感謝するとともに、その心情をよく理解する事が大切です。その優しさを知ることは、同時に責任を持つ事につながります。『利用する方のためではなく、利用する方より優しさ喜びを与えられて、長年にわたり共に歩んできたおかげで元気を貰った』と語るボランティアの方は多いのです。『こんにちは・さよなら』言葉と態度で感謝を表す心を忘れないようにしたいものです。素直な気持ちを受け入れられることにより、優しさを感じ、そこに信頼が生まれます。互いに違っているからこそ、ともに歩む姿勢を持ち続けられる。何事にも関わり続ける事により、変化が現れ生きる力が沸きます。多くの方々の眼差しを全身に受けて福祉社会を切り開いて歩みたいと存じ、皆様のご支援を心よりお願いいたします。

二〇〇六年度 事業報告

法人本部

困難を抱える障がい者に寄り添って!

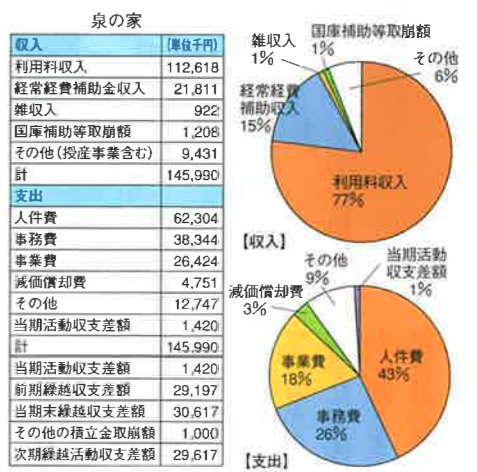
介護保険制度と同様に利用したサービスの量に応じた支援費の定額一割負担と食費と、光熱水費の自己負担を求める応益負担を導入した「障害者自立支援法」の施行により、その負担の重圧にご利用者が深刻な状況に追い込まれた例が、我が法人内でも見られました。今後、入所・通所利用される障がいの方に少なくない費用負担を



泉の家

法人一丸となって!

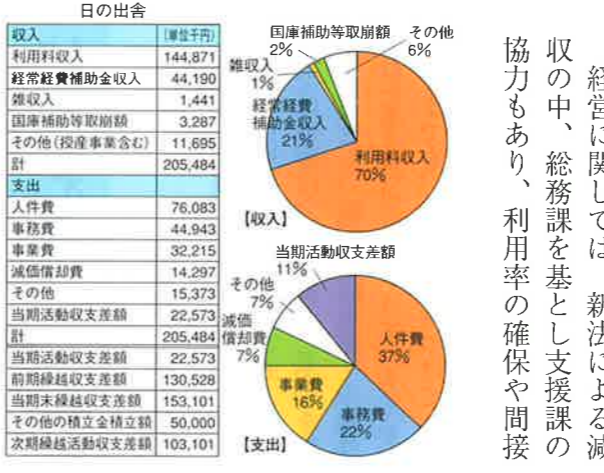
「見つめなおそうマイライフ」は、ご利用者の将来を具現化すべく、個別支援計画を見直し、将来の自分を思い描ける様にするため、支援目標に掲げ実施しました。新法が施行され、新事業体系への移行・老朽化した施設で、どのような事業展開を図るのか。限られ



日の出舎

泉会基本方針の遵守

新法は大勢の関係者が反対しているにも関わらず、4年の後に完全実施され、施設事業も大幅に変更しなければなりません。その第一弾として、ご利用者やご家族にその説明と将来の希望をお聞きしました。結果始の方が継続利用を希望され、職員としてもその妥当性を考慮し入所支援を中心とした将来計画を作成することを確認しました。



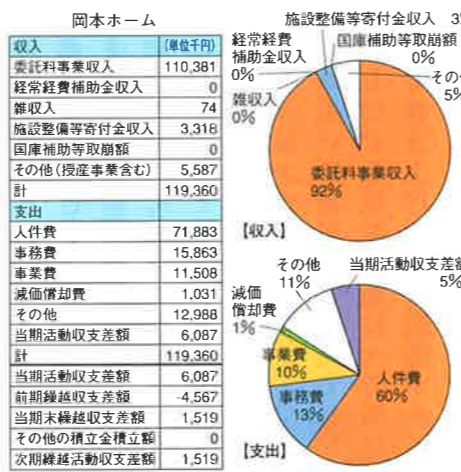
的経費の効率化を図り、将来事業が法人の方針に則った計画となるよう財源確保に努めました。支援では、ご利用者の怪我を発端として安全対策と危機管理意識の徹底を図りました。しかし、老朽化による施設整備には時間と経費が必要で、思うように改善されず、今後の課題でもあります。

岡本ホーム

世田谷に根を張って!

「障害者自立支援法」施行と世田谷区立福祉施設指定管理者制度移行、これまで以上に独自の経営改革が求められた一年でありました。新法に基づく新事業体制への移行は、世田谷との協議を重ね、二〇〇八年度以降具体化をめざして準備を進めています。

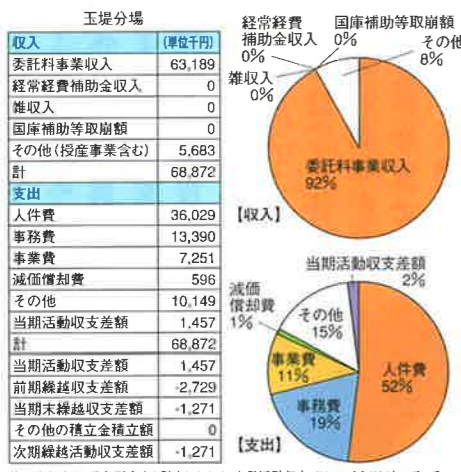
十月以後、法人内施設長人事を契機に世田谷地区事業所の一体経営の可能性を具体的に進めるため、三事業所による世田谷部会を設け、毎月施設長、分場長による部会、課長以上による構成で拡大部会を開催し、地区内の法人課題の共通化を図りました。



玉堤分場

人生の質の向上

障害者自立支援法が施行され、利用の仕組みが大きく変わりました。ご利用者から選ばれ、「人生の質の向上」につながるよう事業を展開してきました。新事業の移行は、利用者満足度調査、意向調



査の結果を基に、区と協議し、平成二十年以降になりました。ご利用者送迎は、ワゴン車が施設付となり、通所の送迎や日中活動等にも有効活用できました。今年度は、利用者十八名でスタートしましたが、就労や他施設移行で欠員の状況が続きました。職員体制は、常勤六名、非常勤三名でスタートし、年度途中の退職や異動等の動きがありました。が、サービスの低下にならぬよう努めました。

資産の部		負債の部		
内訳	合計	内訳	合計	
流動資産	215,035,912	流動負債	40,598,091	
現金預金	173,763,824	買掛金	15,142	
売掛金	1,491,613	未払金	21,261,424	
在庫商品	765,031	預り金	4,459,937	
原材料	137,363	前受金	460,450	
未収金	37,969,783	賞与引当金	14,309,138	
立替金	500	固定負債	19,890,412	
前払金	907,818	設備資金借入金	3,000,000	
固定資産	447,878,688	退職給付引当金	16,389,412	
基本財産	(+46,761,496)	他の固定負債	501,000	
建物	152,722,508	負債の部合計	60,486,503	
東の家	109,773,408	(18,943,839)		
日の出舎	13,811,638	純資産の部	167,037,230	
土地	95,961,770	基本金	45,528,146	
東の家	42,949,100	国庫補助金等特別積立金	220,708,298	
日の出舎	5,050,500	その他の積立金	113,269,132	
他の固定資産	37,898,600	移行時特別積立金	2,420,766	
建物	295,156,180	投資移行特別積立金	105,018,400	
構築物	31,614,800	その他の積立金	4,000,000	
構築物	2,683,555	建物整備	45,018,400	
機械及び装置	997,754	施設整備	56,000,000	
車両運搬具	9,853,081	次期繰越活動収支差額	169,154,423	
器具及び備品	10,796,555	次期繰越活動収支差額	(5)当期活動収支差額	40,485,534
権利	292,517	純資産の部合計	602,428,097	
移行時特別積立金	115,689,898	(35,990,465)		
その他積立預金	105,018,400	負債純資産合計	662,914,600	
他の固定資産	18,209,620	(17,046,626)		
資産の部合計	662,914,600			
	(17,046,626)			

脚注
減価償却費の累計額 当年度末 454,317,707円 前年度末 440,066,805円

	泉の家	日の出舎	岡本ホーム	玉堤分場
製品販売収入	3,865,079	6,538,782	1,982,303	3,695,308
受託加工収入	4,529,319	3,662,939	249,362	0
その他	0	0	200,509	0
授産収入合計	8,394,398	10,201,721	2,432,174	3,695,308
対授産収入	4,771,499	7,615,026	1,980,521	3,087,713
対授産率	57%	75%	81%	84%
材料費	2,887,714	1,432,577	327,310	555,088
他の支出	735,166	753,531	128,243	52,507
授産支出計	3,622,880	2,186,108	455,553	607,595
利用者入所	34.4名	50.3名	0名	0名
利用者通所	17.0名	21.5名	39.1名	16.3名
利用者計	51.4名	71.8名	39.1名	16.3名
平均月賃月額	8,241円	9,403円	4,214円	15,999円
平均年齢	56.8歳	53.6歳	34.5歳	54.2歳
職員数(常勤換算)	12名	18.3名	17名	7.7名
前年度配置数	15.8名	18.6名	16名	7.7名

日の出舎だより

第1回 日の出舎 アートフェスティバルを開催しました!

造形クラブボランティア 奥西麻由子様

7月7日(土) 七夕の行事と共に、「日の出舎アートフェスティバル」を開催しました。これは、造形表現の喜びを施設に入居している方、通所している方、また職員の方にもぜひ体感していただきたいと思って、造形クラブのボランティアである私奥西が提案させていただいたものです。初めての試みだったので、どうなることかと不安と期待が入り混じった状態でございました。しかし当日になってみると、その不安をよそに多くの人たちの笑顔に出会うことが出来ました。

内容は「皆で食堂の壁画を作ろう!」と、大きな色画用紙に身体を使って絵を描きました。絵の具を飛び散らせたり、手や足などでべたべたと歩いたり自由な表現を各自が楽しむこととなりました。この表現は、現



職員も利用者も絵の具まみれ...

代美術の絵画にもみられるアタシオンペインティングという手法を用いているため、心身が開放的になると共に、うまく絵が描けないなどという心配もありません。施設入居者、通所者、職員、そして職員のお子様やそのお友だちというように様々な方が参加され、中にはフェイス、ボディペインティングも交え、思い思いに表現を楽しんでおりました。三枚の紙面に一時間ほどで描き上げた後、喫茶ボラン

ティアの方々が用意して下さっていたお茶やお菓子を食べて一休みをし、第二弾の制作を行いました。出来上がった作品は外で乾かした後、食堂の壁面に展示しました。



みんなが思い思いに描きました。

このフェスティバルは、身体に何らかの制限が加えられた状態でも、アート活動に関わることによって、その楽しみを見出すことが出来ます。また共同的な制作によってコミュニケーション形成にも繋がる可能性を秘めています。今回は皆様のご協力あって無事終了することが出来ました。今後、反省点を生かし、さらなる楽しいフェスティバルが開催できるように、第二回も企画をしておりますので、今回参加

されなかつた方はぜひいらしてください。また、「何かやってみたい!」という提案もお待ちしております。皆さんで生活空間をより豊かなものにしていきましょう。

玉堤分場だより

紙作業(葉書漉き)

小松 正男さん

今回は、紙を漉いて葉書を作る「葉書漉き」の作業をご紹介します。

まず原材料となるリサイクル回収された牛乳パックの汚れを落とします。次にパックを短冊状に切断します。そして鍋で煮て、パック表裏に貼られた薄い防水用フィルムを一つ一つはがしていき、純粋な紙素材だけにします。それをドンドン細かくし、洗濯機にかけ、紙材料を溶けた濃いドロドロの溶液の状態にします。それを更にミキサー



汚れを落とすのは大変です。

にかけ、もう一度洗濯機にかけます。そのかけたものをジューズ程度のサラサラ状になるよう水で薄め、溶液中に溶けている紙成分を、葉書の大きさの木枠をあてがった細かい網ですくいあげます。そして、水分を絞りガラスに貼って2〜3日乾かし、形状・そり・ごみ・面の凹凸等を検査選別します。検査を通ったものに郵便番号枠をスタンプで押し、無地の手漉き葉書は5枚1組、絵つき葉書は1枚ずつラッピングして、出来上がりです。

私が紙漉きを始めたのは、1年前の平成18年6月でした。ちょうどどの時期は世田谷区からの敬老の日に使う慶祝葉書の注文があった時期でもありませんでした。慶祝葉書は材料をピンク色に染め、ピンク色の葉書を作り、色ムラ等を検査し、お祝いのメッセージカードを貼ったものです。



紙漉きの先輩です!

始めて早々なので丁寧に、シツカリと漉き、慶祝葉書が終了する頃にはすっかり紙漉きの作業に慣れていました。その後郵便葉書漉き作業でしたが、慶祝葉書の経験から自信が湧きました。しかし葉書漉きの先輩と2人で漉いた結果、不良が沢山出てきました。葉書は漉いた後、2〜3日乾かしてから結果が出るのですが、私の漉いたものだけ区別して調べるとほぼ重すぎでした。郵便葉書は郵便物の規定があり、重さ5〜6グラムの制限があるので。慶祝葉書の時かしらしっかり丁寧に漉いていた為、重くなっていたようです。考え直し、薄く漉く



私が紙漉き担当の小松です。

と、今度は軽すぎてしまいました。薄いと書いた絵がにじみやすくなり、重いと郵便葉書として使えないので、重さが決まっていたのです。本来の葉書漉きは重さ制限があり、経験を要する作業で、改めて葉書漉きの難しさを実感しました。それから1年、重さに神経を使っていたのですが、まだ先輩のようにはうまくいきません。今年も慶祝葉書を漉き始めていますが、郵便葉書とは少し異なる重さ制限があるので、またまた不良品が出つつも試行錯誤しています。現在は、7月中旬に慶祝葉書千枚作る目標を達成すべく、もっか奮闘中です。

泉の家だより

あすなる会料理教室

恒例になりつつある「あすなる会」のお母様方の料理教室を行いました。今回は、自立を目指している利用者の方々が4名参加、お母様方に、安くて簡単でおいしくて、更に栄養バランスに優れたメニューを考えていただきました。事前に補助機能が付いた調理用具も用意し、準備は万全!!

まずはメニューの説明、今回のメニューは「ビビンパ丼」と「豆腐キムチスープ」です。



材料を刻み

さっそく借りてきた調理器具で野菜を刻みました。切る物の色によって使い分ける二色のまな板



丁寧に炒めて

や、グリッパが握りやすく、力が入りやすい角度の付いた包丁など、便利な調理器具を使い、慣れながらもゆっくりに丁寧に行いました。切る姿勢から手の位置まで、普段料理慣れている主婦のみならず、人からのアドバイスはとても参考になります。

火を使った炒め作業に入り、更に丁寧に：味付けはお母様方にお願ひし、皆さん味見をしながらしっかりとその工程を目に焼き付けていました。

完成した料理は、見た目も味も言う事なし!昼食前という事でお腹一杯に：とはいきませんでした

が皆さん笑顔で「おいしく出来た」「久しぶりの料理は大変だった」「もっと他の料理にも挑戦したい」と狙い通りのコメントを。(笑)

終了後、お母様方からも今回の反省点と、次回以降についてのアドバイスをいただきました。今後は泉の家の恒例行事として定着していくことでしょう。

(本田羽瑠香)

岡本ホームだより

岡本ファーム紹介!

毎週水曜日に活動している選択コースのフリースペースグループ。「楽しめる要素を盛り込んで、命を見つめて世話をしてみよう」との提案に、表現グループ

も加わり2グループ合同での野菜作りが始まりました。中庭の一角を利用した小さな農園「岡本ファーム」

は講師には奥村施設長を招き、ファームの看板はご利用者が作られるなど手作りで運営されました。



えだ豆とったぞー!!

初めての植え付けの際は、どれが何の苗だか解らないよ、と心細げだったメンバーも、水やりの当番を重ねるうちに、どんどん成長していく野菜に注がれる視線は真剣そのものに。昼休みには代わる代わる様子を伺い、雨の日には窓越しに支柱が倒れないかしらと皆で心配し、心を込めて育ててきました。

収穫の時、ささやかなスペースから採れる量などごく限られたものですが、ザルの中の真っ赤に熟れたトマトを宝石のように大事に抱え、ちよっと誇らしげな笑顔で作業場に入ってくるご利用者の姿。ただ野菜を収穫するだけではなく心豊かな時間を感じ取れた幸せなひとときでした。

(仁木 裕美)

自立

玉堤分場 『就職に向けて頑張っています』

伊藤 晃子さん

この文章は、ご本人に質問しながら話を聞き取ったものです。

私の通所開始以来の目標は就職することです。しかし、初めは体力が無く1週間通所が出来ないことや、障がいの為集中力がない・作業工程がわからない等、課題がたくさんありました。

ですが、通所していくうちに体力も付き、自力通所が出来るようになりました。また、通所日数も増え、作業活動も段々とこなせるようになりました。そして就職に向けて更なるステ



スピードが速くて大変です。

ップアップをするために、就労支援を行っている機関への登録と東京都障害者職業センターでの職能判定を受けました。

職能判定の結果は、直ぐに就職することは難しいということでしたが、少しずつ就職の準備をしていこうということになりました。最初に取り組んだのは、他施設での1週間の短期就労プログラムでした。

その中で「私は何をすればいいのか?」「周りは知らない人ばかり:」で、とても緊張しました。作業内容は、クッキーの袋詰め、

パウンドケーキの袋詰め、計量・袋折・ケーキの周りにセロハンを巻くなど様々で、商品にあった工程を行っていくのが本当に大変でした。

最初は何度も教えてもらいました。流れ作業のためほとんど商品が流れてくるのでとても大変でしたが、同じ年頃の方と話をすることがとても楽しく、大変な中でも頑張るやり遂げることが出来ました。また、この短期就労プログラムを終了してからは自分に自信がもてるようになりました。

次は1ヶ月に期間を伸ばして実習を行いました。

実習先は同じだったのですが、少しだけ気は楽でした。また、一緒に帰る友達も出来、楽しくてあつという間に1ヶ月が過ぎてしまいました。今度は3ヶ月に延長して挑戦したいと考えています。



就職目指して頑張っています!

また就職活動として渋谷のハローワークに登録しました。直ぐには求人が見つからないと思いますが、地道にやっていければと考えています。

最近では緊急介護人と外出ができるようになり、どんどん行動範囲を広げています。

通所開始前の生活から比べると、約3年の年月を経て、「今の私は行動範囲が広がったなー」とつくづく感じます。

これからも就職に向けて頑張っていきたいと思っておりますので皆さんも応援してください。

(聞き手 木村 元昭)



(日の出舎)



アートフェスティバルで完成した特大絵画

第1回アートフェスティバルを開催し、大勢で特大の絵画を描きました。
この絵画は現在食堂に飾っています。

一九七七年十二月三日第二種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)
二〇〇七年八月二十二日発行(SSKP通巻三五七九号)

発行所 障害者団体定期刊行物協会 領価五十円
東京都世田谷区砧六の二六の二
編集人 社会福祉法人 泉会

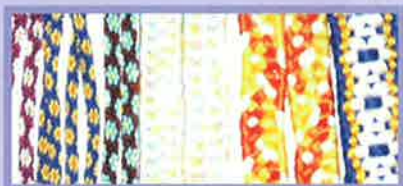
製品紹介

泉の家

「組ひも」

手作りの組ひも製品です。注文販売
で色・柄などお選びいただけます。

ミサンガ ¥100～
その他製品 ¥500～



イヌ・ネコ用首輪



グラスコード



ネームホルダーストラップ



ミサンガ

もう一度原点に帰る

いずみ友の会会長

尾崎 風伍



二〇〇六年
四月から障害
者自立支援法
が施行されて

からすでに一年を過ぎています。泉の家も日の出舎も、新法施行以前の問題として老朽化対策の必要な時期が来ていましたが、その改築に際し泉会では、これに加えて障害者自立支援法の基本的な考え方に沿った新施設を、経過措置期間と定められた二〇一一年までに整備する線で計画が進められています。利用者の方たちが、お仕着せの福祉ではなく、自分に必要な福祉を、自分で選んで受けることができるようにする。——この新法の主旨そのものは大変よいのです。けれどもその目的を達成する

ためには、相当な時間とお金を

かけた基盤整備が必要で、その

責任は行政府にあるはずですが、

現状はそのところが一番心も

となく思われます。小泉前首相

が「改革には痛みを伴う。国民

はそれを負う覚悟が必要だ」と

言いました。一般論としては正

しいことですが、現実には、痛

みは立場の弱い人たちにより多

く負わされ、格差がいつそう大

きくなっていることが問題とさ

れています。自立支援法の施行

の現実も同様だとすれば、どう

すればよいか。

一つは、障害者福祉の第一線

を担う泉会のようなところから、

問題点を、できるだけ客観的に

正確に、要所は数量的根拠で押

さえて、町役場や区役所や国の

官庁にフィードバックして、法

施行の実情と問題点を把握して
もらい、一日でも早い改善を促
すことです。またこれと同時に並
行的に、同じことを社会一般に
広報することです。

第二は、本来行政府の責任で

ありながら、必要不可欠なこと

が現実にはできないでいるとき、

民間有志に呼びかけて、少しでも、

何とかして、その必要を満たす

方法を工夫し実行する。これは、

福祉の原点ではないでしょうか。

「聖隷福祉事業団の源流」とい

う本などを読んで、そう思います。

泉会の事業を賛助後援して、

その財政的な面での必要を多少

なりとも補おうというのが「い

ずみ友の会」に委ねられている

使命です。泉会の創立当初から

これを支えてこられた方たちの

志を引き継いでゆく新しい同志

が多数奮起してくださるよう願

ってやみません。



社会福祉法人泉会は、一般企業で働くことの困難な身体障害者の方々が就労活動を中心とした、生活及び作業をする施設を運営しています。

いずみ友の会は、三施設四事業所の利用者の生活の充実と、老朽化した施設の建て替えを後援しています。友の会では、泉会の事業にご理解くださり、年間千円以上の会費を納めてご支援していただける方を募集いたしております。何かと出費の多い折りとはいえませんが、自立を目指して日々努力している利用者の方々の福祉を前進させるためにご支援をお願い申し上げます。なお、振替用紙を同封させていただきますので年間分を一括あるいは分割にてご利用ください。

・会費 年間千円以上

個人・団体・法人のいずれでも結構でございます。

(振込先)

郵便振替 00110-9

口座番号 55841

加入者名 社会福祉法人 泉会后援会

いずみ友の会

2006年度 収支計算書

	予算	決算	増減
収入の部			
友の会費	4,500,000	4,279,500	-220,500
銀行利息	5	589	584
当期収入合計 (A)	4,500,005	4,280,089	-219,916
前期繰越金	880,000	940,495	60,495
収入合計 (B)	5,380,005	5,220,584	-159,421
支出の部			
社会福祉法人泉会へ寄付	4,000,000	4,000,000	0
振り込み手数料	70,000	64,650	-5,350
振替用紙印字サービス	10,100	0	-10,100
事務備品	20,000	1,880	-18,120
消耗品費	5,000	400	-4,600
事務局手当	480,000	480,000	0
交通費	30,000	18,000	-12,000
会議費	10,000	0	-10,000
通信費	10,000	400	-9,600
税金	0	5	5
予備費	744,905	0	-744,905
当期支出合計 (C)	5,380,005	4,565,335	-814,670
当期収支差額 (A)-(C)	-880,000	-285,246	594,754
次期繰越金 (B)-(C)	0	655,249	655,249

次期繰越金内訳 (郵便局当座)	493,426円
(銀行普通 西武信金)	155,765円
(銀行普通 三井住友)	58円
(現金)	6,000円

2007年度 事業計画

1. 役員会 2007年6月13日(水)
2008年2月13日(水)
2. 新規入会者の募集
3. 友の会会員名簿の管理
4. 友の会費及び寄付金の受納
5. 法人への寄付と各施設からの謝意の表示
6. 法人機関紙「友の会コーナー」へ投稿

2007年度 会計予算案

	2006年度予算	2007年度予算
収入の部		
友の会費	4,500,000	4,300,000
銀行利息	5	30
当期収入合計 (A)	4,500,005	4,300,030
前期繰越金	880,000	700,000
収入合計 (B)	5,380,005	5,000,030
支出の部		
社会福祉法人泉会へ寄付	4,000,000	3,800,000
振り込み手数料	70,000	70,000
振替用紙印字サービス	10,100	0
事務備品	20,000	20,000
消耗品費	5,000	5,000
事務局手当	480,000	480,000
交通費	30,000	30,000
会議費	10,000	10,000
通信費	10,000	10,000
税金	0	5
予備費	744,905	575,025
当期支出合計 (C)	5,380,005	5,000,030
当期収支差額 (A)-(C)	-880,000	-700,000
次期繰越金 (B)-(C)	0	0

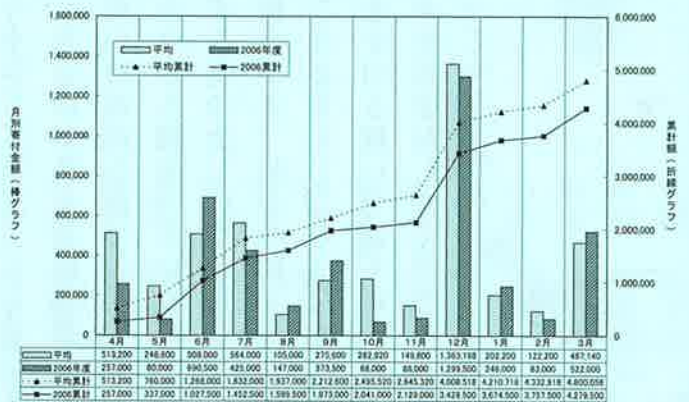
補足: 本予算は実績に基づいて2006年度予算より収入減としたが、2006年度予算並みの収入確保を目標とし、収入が本予算を超える見通しとなった場合、いずみ友の会役員会の承認を得た上で、超過分相当の金額を社会福祉法人泉会への寄付に増額するものとする。

友の会活動報告

2006年度 事業報告

1. 役員会 第1回 2006年6月14日(水)
2005年度事業報告、決算報告
第2回 2007年2月14日(水)
2006年度予算執行状況報告、法人への寄付額決定、2007年度事業計画、予算、泉会中長期展望
2. 友の会会員名簿の管理
会員数…1,880名(昨年度1,939名)
入会……14名(昨年度29名)
退会……73名(昨年度154名)
3. 友の会費及び寄付金の受納
入金額…4,279,500円
件数……658件
4. 法人への寄付と各施設からの謝意の表示
5. 法人機関紙へ投稿
いずみNo.141(2006年6月)…寄付芳名録
いずみNo.142(2006年9月)…寄付芳名録
いずみNo.143(2006年12月)…寄付芳名録
いずみNo.144(2007年3月)…寄付芳名録

いずみ友の会2006年度寄付金実績 (昨年との比較)



いずみ友の会2006年度寄付金実績 (平均との比較)

